

輸血を受けた患者さんから

献血者の皆様へ

感謝のメッセージ

「ありがとうの声」が

届いています。

みなさんの協力で
助かる方がいます

★会場：北多摩看護専門学校（学校祭）

★日付：令和7年 10月25日（土）

★時間：10:00～11:15 / 12:30～15:00

（※受付は14:30で終了）

輸血用血液の約35%が
「がん治療」で使用されています

出産体験記

「大量出血、容態急変 救命救急医療センターへ」

第3子の出産後、幸せなひと時から急転、
分娩室は物々しい雰囲気になりました。

体に強烈な悪寒。体温は38.8℃。

下から大量の血が、何度も何度も、

滝のように止めどなく出血し始めました。



すぐに救急車で近くの救命救急医療センターへ運ばれることになりました。医師に「私は死ぬかもしれないのですか？」と聞きました。医師からは「死にません!!」と力強く言われました。私はその言葉に励まされながら、救急搬送されました。

今回、私の病症は羊水塞栓症と弛緩出血でした。EICU（救急集中治療室）で治療を受け、高度な医療技術で命をつないで頂きました。退院時、医療スタッフから「10人分の輸血で助かったことを忘れずに」と言われました。



出産を経て「家族のために生きたい」と心から思ったあの瞬間、そして、今もこの瞬間に生きていることがとても新鮮で、素晴らしいことだと感じています。

献血をして下さいました皆様、皆様の尊い血液で、私の命は救われました。

私は、皆様のおかげで、家族と共に新しい人生を歩み始めています。

本当にありがとうございました。

2023年11月13日 ペンネーム：長谷川たかこさん

『羊水塞栓症と弛緩出血を経験した者が、また子どもを出産するのを私は今まで見たことがない。』

当時、治療して下さいました主治医から言われました。しかし、私は怖さを振り飛ばし、2年後には第4子を身籠り、無事、出産をしました。



東京都赤十字血液センター

日本赤十字社